

Library News



京教図書館 News

2009
11

今月のトピック

●私のすすめるこの1冊

今月は、数学科・桐木紳先生に

『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』(安彦良和著)をご紹介します。

●教科書展を開催します！

●論のくちび理のむすび

今月は、教育学科 相澤伸幸先生の論文を取り上げています。



新型インフルエンザ感染防止にご協力を！

図書館の入口に消毒用エタノールを設置していますので、
入館の際には必ず手を消毒していただくようご協力お願いいたします。

<図書館開館スケジュール>

平日は9:00~21:00、土曜は9:00~17:00

※毎月第1水曜日は館内整理のため休館です

11

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 祝	4 整	5	6	7
休館	~21:00	休館	休館	~21:00	~21:00	~17:00
8	9	10	11	12	13	14
休館	~21:00	~21:00	~21:00	~21:00	~21:00	~17:00
15	16	17	18	19	20	21
休館	~21:00	~21:00	~21:00	~21:00	~21:00	~17:00
22	23 祝	24	25	26	27	28
休館	休館	~21:00	~21:00	~21:00	~21:00	~17:00
29	30					
休館	~21:00					

12

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 整	3	4	5
		~21:00	休館	~21:00	~21:00	休館
6	7	8	9	10	11	12
休館	~21:00	~21:00	~21:00	~21:00	~21:00	~17:00
13	14	15	16	17	18	19
休館	~21:00	~21:00	~21:00	~21:00	~21:00	~17:00
20	21	22	23 祝	24	25	26
休館	~21:00	~21:00	休館	~17:00	~12:00	休館
27	28	29	30	31		
休館	休館	休館	休館	休館		

※12月5日(土)は推薦入試のため休館です

※12月25日(金)の開館時間は12時までです

私のすすめるこの1冊

桐木 紳(数学科 教授)

安彦良和著 『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』 愛蔵版 (1～5巻)

烏丸の国際マンガミュージアムを訪れると、古いも若きもマンガ本を手に取り、のんびり時間を忘れて読んでいる姿に出会える。彼らは、いわゆる「コミックカフェ」という淀んだ空間に集う輩とは異なった「位相」でマンガに接しているように思われる。これは対象の本質的価値を認め、大切に作る素地のある京都ならではの姿ではないだろうか。そんな京都の教育大学の図書館ニュースにマンガを、それもあえて「ガンダム」を紹介してみようと思う。ガンダムとは七十年代後半に放映されたアニメーションで、後のサブカルチャーに多大な影響を与えた臨界的な作品であった。安彦氏は当初アニメーターとして、そのキャラクターデザインと絵コンテを担当した。同氏はその後、漫画家としてデビューし大胆かつ緻密な仮説と圧倒的な画力に支えられた歴史マンガの名作を多く発表してきた。漫画界では既に不動の地位を築き(神戸芸大の教授でもある)、還暦を過ぎ残りの人生を賭ける仕事として選んだのが、ガンダムをマンガとして改めて描くことであった。「オタク」文化はガンダムと共に成熟したと言っても過言でない。主人公アムロ・レイは電子回路をいじくり回し、シャア・アズナブルは新型の兵器とスタイルへのこだわりを妥協はない。彼らは一見、対照的であるが、その中核には鬱積した思いを抱えたオタクの代表である。これは世紀末の日本を生き抜いた我々の思いを反映している。しかし、現在では「オタク」は世界を席卷し、その鬱積したエネルギーはスティーブ・ジョブスによって昇華され空気のような存在となった。だから安彦氏が改めて描く彼らは、鬱積した思いを中核に抱えていない。主人公のアムロもシャアも、もっと別の「何か」に突き動かされているように見える。作者の命がけで描こうとしているこの「何か」こそが「ニュータイプ」の神髄であろう。また主人公たちを支える大人たち(ラルやハモンなどの中年)の生き様も非常に豊かに表現され、達人の域に達しながら奢ることのない作者の人柄を感じることができる傑作になっている。

『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』 愛蔵版 (1～5巻) 安彦良和著

角川書店、2005年～、ISBN: 9784048538091 (1巻) ほか、2625円 (1巻) ほか

1巻購入手続き中

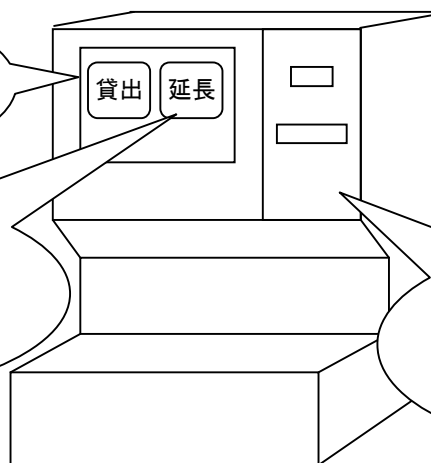


図書館からのお知らせ

★1★ 図書館の自動貸出機が新しくなりました！

従来のボタン操作式から、タッチパネル式に変わりました。

貸出に加え、返却期限日の延長(最大2週間・学内者のみ)が自動貸出機でもできるようになりました。



注意

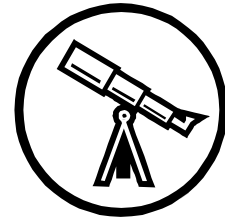
機械での返却はできなくなりましたので、カウンターで返却手続きをしてください。

レシートに、返却期限日のほかタイトルが表示されるようになりました。大切に保管してください。

★2★ 教科書展を開催します！

第14回教科書展
中等教育用教科書(理科編)

—教科書に見る天文教育の変遷—



期間：平成21年11月5日(木)～25日(水)

ただし、8日(日)、22日(日)、23日(祝)は休館

※15日(日)は藤陵祭(11月13日～15日)のため教科書展のみ開館

時間：10時～16時

場所：附属図書館1階ロビー

※入場無料

開学120周年記念事業の一環として平成8年に開催された教科書展は、その後も毎年開催され今回で14回目を迎えます。今年は「中等教育用教科書の理科編」とし、特に天文分野を展示・解説します。

また、今年の世界天文年にあたり、時代とともに大きく進歩した天文学が教科書の中でどのように紹介されてきたのか、その変遷をたどります。戦後間もない時代に使用されていた教科書の質的内容の高さと、ビジュアル的に大きく進化した現在の教科書との対比が非常に興味深い展示となっています。

教科書のほか、明治・大正期の一般向け天文教養書や、本学大学院生が製作した反射望遠鏡の展示・解説も行います。

世界天文年2009 公認イベント

★3★ 学術情報リポジトリ「クエリの森(Kyoto University of Education Repository)」の一般公開が始まりました！

本学機関リポジトリ「クエリの森」を、10月28日(水)より一般公開しました。これにより、京都教育大学の研究成果は学外からも検索・閲覧が可能となりました。

また、一般公開を記念して「クエリの森」のしおり(オリジナルグッズ)を作成しましたので、11月上旬より配布いたします。どうぞお持ち帰りください！

京都教育大学附属図書館
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION LIBRARY

お知らせ

第14回教科書展 中等理科編 開催予定
10月9-13日 図書館ホームページ停止のお知らせ
10月1日 日経BP社 読書検定サービススタート
7月 夏学期休業のお知らせ
3/24 学外からの利用サービスについてお知らせ

出版物

京都教育大学附属図書館
京都教育大学
卒業生へ

学外からの利用
2008年度卒業・修了生のための
地図・交通案内

図書館を使う

OPAC(蔵書検索) ← 本学蔵書検索
開館日程
図書館利用案内 English
館内案内
よくある質問

情報検索

検索サービス 11/30まで
学外からの利用
学外からの利用

＜ご利用はこちらから＞
京都教育大学附属図書館トップページの、右上部にリンクボタンがあります。
<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>

「〈道徳〉と〈倫理〉の前提的境界設定に関する教育学的考察」

ややわかりにくいタイトルではあるが、簡単に述べるならば、本稿は道徳教育を論じる以前の問題、つまり境界設定について考察したものである。なぜそのようなややこしいことが必要なのかと言えば、道徳教育に関する考察をおこなう際に、つねに問うべき観点がいくつか存在すると考えているためである。これらは答えがけっして簡単に出ることもなければ、そもそも答えることを求められていないような問いであるが、道徳を論じるにあたり、さしあたってつねにすでにそこにあり、意識しておかなくてはならない問題群である。結局、これらの問題群に対するスタンスがその人の道徳観や教育観に反映しているのであり、学問以前の、その人の実存にも関わることでもあるかもしれない。もしかすると、出発点である問いの前提や根拠としての部分は、問うている者本人でさえ明確に理解できているかどうか不明である。あるいは終局的末端部分としての答えですらも本人の理解を超えている場合だってあり得る。

そういったことを考えながら、道徳教育を論じるにあたり取り上げるべき数多くの問題群のうちでも、さしあたって問題とすべきは、道徳と教育の関係あるいは道徳と倫理の関係であると考え、本稿は〈道徳〉と〈倫理〉の意味の違いを説明することから議論をはじめた。しかしその根底に横たわっているのは、言語から言語への翻訳の問題、あるいは文化形成の問題、道徳教育導入の問題となり、さらには倫理的言説の形成という問題であり、これは畢竟、教育学的言説に関わる問題である。つまり、明治以降の近代公教育の構築は、日本人の精神構造の再構築という意味もとうぜん持っており、今日われわれが道徳教育あるいは教育を論じることができるのも、このプロセスを経たからであるということを論じた。

全文は、第115号(平成21年9月)に掲載されています。

後日、<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/kivou/kivouindex.html>(京都教育大学紀要)に掲載される予定です。



ちょっとブレイク
11月の言葉

「朝寒」「夜寒」

「あささむ」・「よさむ」と読み、その名の通り朝晩の冷えを表す秋の季語です。

いつのまにか秋が深まり冷え込むようになりましたね。

体調にはどうぞお気をつけ下さいますよう・・・

参考文献→「京の季語」－秋－ 坪内稔典／文、橋本健次／写真 光村推古書院

配置場所：京都コーナー 請求記号：748/TS21

- 蔵書検索 OPAC はこちらから
<http://tosho02.kyokyo-u.ac.jp/>
- 京都教育大学附属図書館ホームページはこちらから
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

京教図書館 News No. 109 (2009年11月号)

編集発行：京都教育大学附属図書館

発行日：平成21年11月2日

内容に関するお問い合わせ先：

附属図書館 (内線8179)